

シラバス

指定番号 111

商号又は名称：日本エースサポート株式会社

| 科目番号・科目名 | (1)職務の理解 | | | |
|-------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | 研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①多様なサービスと理解 | 2 | 2 | | <講義内容> ・介護保険サービス（居宅、施設）について ・介護保険外サービスについて ※補助教材DVDを使用 |
| ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 | 4 | 4 | | <講義内容> ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ（現場経験のある講師の体験談や施設の見学等） ・ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携 ※補助教材DVDを使用 <実習実施方法> 下記の施設を2時間程度見学する。 ・医療法人仁寿会デイサービスセンター円珠の森 ・医療法人仁寿会グループホーム円珠荘 ・医療法人仁寿会小規模多機能ホーム円珠の里 (いずれも高槻市北柳川町2-6) |
| (合計時間数) | 6 | 6 | | |

| | |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | (株)日本医療企画刊行 介護職員初任者研修課程テキスト1を使用 |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 111

商号又は名称：日本エースサポート株式会社

| 科目番号・科目名 | (2)介護における尊厳の保持・自立支援 | | | |
|--------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | 介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたって基本的視点及びしてはいけない行動例を理解させる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①人権と尊厳を支える介護 | 4 | 1.5 | 2.5 | <講義内容> ・人権と尊厳の保持について ・介護分野における ICF について ・QOL の考え方、生活の質について ・ノーマライゼーションの考え方について ・身体拘束、高齢者虐待防止法について <通信学習内容> ・人権と尊厳の保持について ・介護分野における ICF について ・QOL の考え方、生活の質について ・ノーマライゼーションの考え方について ・身体拘束、高齢者虐待防止法について |
| ②自立に向けた介護 | 3 | 0.5 | 2.5 | <講義内容> ・自立、自律支援について ・介護予防の考え方について <通信学習内容> ・自立、自律支援について ・介護予防の考え方について |
| ③人権に係る基礎知識 | 2 | 2 | 0 | <講義内容> ・人権について ・人権への取り組みについて ・身近な人権のこと |
| (合計時間数) | 9 | 4 | 5 | |

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | (株)日本医療企画刊行 介護職員初任者研修課程テキスト 1 を使用 |
|------------|-----------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 111

商号又は名称：日本エースサポート株式会社

| 科目番号・科目名 | (3)介護の基本 | | | |
|-----------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | 介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策の内重要なものを理解させる。 介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができるようになる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①介護職の役割、専門性とは他職種との連携 | 2 | 1 | 1 | <講義内容> ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性について ・介護に関する職種について <通信学習内容> ・介護の専門性について ・介護に関する職種について |
| ②介護職の職業倫理 | 2 | 1 | 1 | <講義内容> ・専門職の倫理の意義について ・介護の倫理について ・介護職としての社会的責任について ・プライバシーの保護、尊重について <通信学習内容> ・専門職の倫理の意義について ・介護の倫理について ・介護職としての社会的責任について ・プライバシーの保護、尊重について <演習内容> 介護職の職業倫理についてグループディスカッションを実施。 |
| ③介護における安全確保とリスクマネジメント | 1 | 0.5 | 0.5 | <講義内容> ・介護における安全確保とリスクマネジメントについて ・事故予防、安全対策について ・感染対策について <通信学習内容> ・介護における安全確保とリスクマネジメントについて ・事故予防、安全対策について ・感染対策について |
| ④介護職の安全 | 1 | 0.5 | 0.5 | <講義内容> ・介護職の健康管理について ・介護職に起こりやすい健康障害について ・腰痛予防に関する知識について ・手洗い、うがいの励行について ・感染対策について ・ストレスマネジメントについて <通信学習内容> ・感染対策について ・ストレスマネジメントについて |
| (合計時間数) | 6 | 3 | 3 | |

| | |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | (株)日本医療企画刊行 介護職員初任者研修課程テキスト1を使用 |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 111

商号又は名称：日本エースサポート株式会社

| 科目番号・科目名 | (4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | | | |
|----------------------|--|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標 | 介護保険制度や障がい者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①介護保険制度 | 3 | 0.5 | 2.5 | <講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景および目的、動向について ・介護保険制度の仕組みの基礎的理解 ・制度を支える財源、組織、団体の機能と役割について <通信学習内容> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景および目的、動向について ・介護保険制度の仕組みの基礎的理解 ・制度を支える財源、組織、団体の機能と役割について |
| ②医療との連携・リハビリテーション | 3 | 0.5 | 2.5 | <講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・医療行為と介護について ・訪問看護について ・施設における看護と介護の役割、連携について ・リハビリテーションの理念について <通信学習内容> <ul style="list-style-type: none"> ・医療行為と介護について ・訪問看護について ・施設における看護と介護の役割、連携について ・リハビリテーションの理念について |
| ③障がい者総合支援制度およびその他の制度 | 3 | 0.5 | 2.5 | <講義内容> <ul style="list-style-type: none"> ・制度創設の理念、背景と目的について ・制度の仕組みと基礎的理解について ・個人の権利を守る制度の概要について <通信学習内容> <ul style="list-style-type: none"> ・制度創設の理念、背景と目的について ・制度の仕組みと基礎的理解について ・個人の権利を守る制度の概要について |
| (合計時間数) | 9 | 1.5 | 7.5 | |

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | (株)日本医療企画刊行 介護職員初任者研修課程テキスト 1 を使用 |
|------------|-----------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 111

商号又は名称：日本エースサポート株式会社

| 科目番号・科目名 | (5)介護におけるコミュニケーション技術 | | | |
|----------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | 高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解させる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①介護におけるコミュニケーション | 3 | 1.5 | 1.5 | <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割について ・コミュニケーション技法、道具を用いた言語的コミュニケーションについて ・利用者、家族とのコミュニケーションの実際について ・利用者の状況に応じたコミュニケーション技術の実際について <p><通信学習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割について ・利用者、家族とのコミュニケーションの実際について ・利用者の状況に応じたコミュニケーション技術の実際について <p><演習内容></p> <p>受講生を班に分け、講師指導のもと、介護職・利用者・家族のコミュニケーションのロールプレイングを実施。</p> |
| ②介護におけるチームのコミュニケーション | 3 | 1.5 | 1.5 | <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録における情報の共有化について ・報告、連絡、相談の留意点について ・コミュニケーションを促す環境について <p><通信学習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録における情報の共有化について ・報告、連絡、相談の留意点について ・コミュニケーションを促す環境について <p><演習内容></p> <p>受講生を班に分け、講師指導のもと、業務上のコミュニケーションのロールプレイングを実施。</p> |
| (合計時間数) | 6 | 3 | 3 | |

| | |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | (株)日本医療企画刊行 介護職員初任者研修課程テキスト2を使用 |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 111

商号又は名称：日本エースサポート株式会社

| 科目番号・科目名 | (6)老化の理解 | | | |
|---------------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | 加齢、老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解させる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 | 3 | 1.5 | 1.5 | <講義内容> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴について ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響について <通信学習内容> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴について ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響について |
| ②高齢者と健康 | 3 | 1.5 | 1.5 | <講義内容> ・高齢者の疾病と生活上の留意点について ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点について <通信学習内容> ・高齢者の疾病と生活上の留意点について ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点について |
| | | | | |
| | | | | |
| (合計時間数) | 6 | 3 | 3 | |

| | |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | (株)日本医療企画刊行 介護職員初任者研修課程テキスト2を使用 |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 111

商号又は名称：日本エースサポート株式会社

| 科目番号・科目名 | (7)認知症の理解 | | | |
|------------------------|---|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | 介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断基準となる原則を理解させる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①認知症を取り巻く状況 | 1 | 0.5 | 0.5 | <講義内容> ・認知症ケアの理念について <通信学習内容> ・認知症ケアの理念について |
| ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 | 2 | 0.5 | 1.5 | <講義内容> ・認知症の概念と原因疾患とその病態について ・原因疾患別ケアのポイントと健康管理について <通信学習内容> ・認知症の概念と原因疾患とその病態について ・原因疾患別ケアのポイントと健康管理について |
| ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 | 2 | 1 | 1 | <講義内容> ・認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴について ・認知症の利用者への対応について <通信学習内容> ・認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴について ・認知症の利用者への対応について |
| ④家族への支援 | 1 | 1 | 0 | <講義内容> ・認知症の受容過程での援助について ・介護負担の軽減（レスパイトケア）について |
| (合計時間数) | 6 | 3 | 3 | |

| | |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | (株)日本医療企画刊行 介護職員初任者研修課程テキスト2を使用 |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 111

商号又は名称：日本エースサポート株式会社

| 科目番号・科目名 | | (8)障がいの理解 | | | |
|---|--|---|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | | 障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解させる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①障がいの基礎的理解 | | 1 | 0.5 | 0.5 | <講義内容> ・障がいの概念と国際生活機能分類 (ICF) について ・障がい者福祉の基本理念について <通信学習内容> ・障がいの概念と国際生活機能分類 (ICF) について ・障がい者福祉の基本理念について |
| ②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 | | 1.5 | 0.5 | 1 | <講義内容> ・身体障がいについて ・知的障がいについて ・精神障がいについて ・その他の心理の機能障がいについて <通信学習内容> ・身体障がいについて ・知的障がいについて ・精神障がいについて ・その他の心理の機能障がいについて |
| ③家族の心理、かかわり支援の理解 | | 0.5 | 0.5 | 0 | <講義内容> ・家族への支援について |
| (合計時間数) | | 3 | 1.5 | 1.5 | |

| | |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | (株)日本医療企画刊行 介護職員初任者研修課程テキスト2を使用 |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 111

商号又は名称：日本エースサポート株式会社

| 科目番号・科目名 | (9)こころとからだのしくみと生活支援技術 | | | |
|----------------------|--|-------------------|-------------------|---|
| 指導目標 | <p>介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるようになる。</p> <p>尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得させる。</p> | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①介護の基本的な考え方 | 2 | 0.5 | 1.5 | <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除）について ・法的根拠に基づく介護について <p><通信学習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除）について ・法的根拠に基づく介護について |
| ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解 | 4.5 | 0.5 | 4 | <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己概念と生きがいについて ・老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因について <p><通信学習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶に関する基礎知識について ・感情と意欲に関する基礎知識について ・自己概念と生きがいについて ・老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因について |
| ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | 4.5 | 0.5 | 4 | <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識について ・骨、関節、筋肉に関する基礎知識及びボディメカニクスの活用について <p><通信学習内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康チェックとバイタルサインについて ・中枢神経系と体性神経に関する基礎知識について ・自律神経と内部器官に関する基礎知識について |
| ④生活と家事 | 6 | 6 | 0 | <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活と家事について ・家事援助の基礎知識と生活支援について <p><演習内容></p> <p>上記講義内容について、グループに分かれ、講師指導のもと生活支援についてケーススタディを実施。</p> |
| ⑤快適な居住環境整備と介護 | 6 | 6 | 0 | <p><講義内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な居住環境に関する基礎知識について ・介護保険による住宅改修について ・福祉用具に関する基礎知識について <p><演習内容></p> <p>上記講義内容について、講師指導のもと、福祉用具利用についてのグループディスカッションを実施。</p> |

| | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|--|
| ⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 6 | 6 | 0 | <講義内容> ・整容に関する基礎知識について ・整容の支援技術について <演習内容> 上記講義内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、整容のうちの衣服着脱などのロールプレイングを実施。 |
| ⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 6 | 6 | 0 | <講義内容> ・移動、移乗に関する基礎知識について ・さまざまな移動、移乗のための用具と活用方法について ・負担の少ない移動、移乗と支援方法について ・移動と社会参加の留意点と支援について <演習内容> 上記講義内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、車イスの移乗などのロールプレイングを実施。 |
| ⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 6 | 6 | 0 | <講義内容> ・食事に関する基礎知識について ・食事環境の整備と用具の活用方法及び食事形態とからだのしくみについて ・楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について ・食事と社会参加の留意点と支援について <演習内容> 上記講義内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、食事介助などのロールプレイングを実施。 |
| ⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 6 | 6 | 0 | <講義内容> ・入浴と清潔保持に関する基礎知識について ・入浴と整容のさまざまな用具の活用方法について ・楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について <演習内容> 上記講義内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、入浴介助などのロールプレイングを実施。 |
| ⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 6 | 6 | 0 | <講義内容> ・排泄に関する基礎知識について ・さまざまな排泄環境の整備と用具の活用方法について ・爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について <演習内容> 上記講義内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、排泄介助などのロールプレイングを実施。 |
| ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 | 6 | 6 | 0 | <講義内容> ・睡眠に関する基礎知識について ・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法について ・快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について <演習内容> 上記講義内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、体位・姿勢交換などのロールプレイングを実施。 |

| | | | | |
|-----------------------------|----|-----|-----|---|
| ⑫死にゆく人に関連したところからだのしくみと終末期介護 | 6 | 6 | 0 | <講義内容> ・終末期に関する基礎知識とところからだのしくみについて ・生から死への過程と死に向き合うところの理解について ・苦痛の少ない死への支援について <演習内容> 上記講義内容について、グループに分かれ、講師指導のもと、誤嚥を防ぐための介助などのロールプレイングや、終末期の心理・介護に関する考え方などのディスカッションを実施。 |
| ⑬介護過程の基礎的理解 | 6 | 3.5 | 2.5 | <講義内容> ・介護過程の目的、意義、展開について ・介護過程とチームアプローチについて <通信学習内容> ・介護過程の目的、意義、展開について ・介護過程とチームアプローチについて |
| ⑭総合生活支援技術演習 | 4 | 4 | 0 | <講義内容> ・総合生活支援技術演習（事例による展開） |
| (合計時間数) | 75 | 63 | 12 | |

| | |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | (株)日本医療企画刊行 介護職員初任者研修課程テキスト3を使用 |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

シラバス

指定番号 111

商号又は名称：日本エースサポート株式会社

| 科目番号・科目名 | (10)振り返り | | | |
|---------------------|--|-------------------|-------------------|--|
| 指導目標 | 研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。 | | | |
| 項目番号・項目名 | 時間数 | うち 通学学習 時間数 | うち 通信学習 時間数 | 講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可) |
| ①振り返り | 2 | 2 | 0 | <講義内容> ・研修を通して学んだこと ・今後、継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点 |
| ②就業への備えと研修修了後における実例 | 2 | 2 | 0 | <講義内容> ・継続的に学ぶべきこと ・研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における実例 (Off-JT、OJT) の紹介 <実習実施方法> 下記の施設を2時間程度見学する。 ・医療法人仁寿会デイサービスセンター円珠の森 ・医療法人仁寿会グループホーム円珠荘 ・医療法人仁寿会小規模多機能ホーム円珠の里 (いずれも高槻市北柳川町2-6) |
| | | | | |
| | | | | |
| (合計時間数) | 4 | 4 | | |

| | |
|------------|---------------------------------|
| 使用する機器・備品等 | (株)日本医療企画刊行 介護職員初任者研修課程テキスト3を使用 |
|------------|---------------------------------|

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。